

貧困・困窮者支援チーム 第3回会合（議事概要）

日時：平成21年12月3日（木）15：00～15：35

場所：合同庁舎4号館共用第4特別会議室

【出席者】

菅副総理、山井厚生労働大臣政務官、小川総務大臣政務官、長安国土交通大臣政務官、荒井総理補佐官、湯浅内閣府参与、清水内閣府参与

【概要】

○菅副総理より、冒頭の挨拶において、年末に向けてワンストップサービスをより全国的な拡がりをもった取組として展開すること、今後検討される求職者支援制度はじめ「第2のセーフティーネット」が雇用保険や生活保護との連動性をしっかりと持つ形で考えていくことについて指示。

○11月30日のワンストップ・サービス・デイの実施状況についての報告。全国77ヶ所のハローワークで試行実施。2,404名の利用があった。

○今後の進め方について検討。11月30日の試行結果を受け、ワンストップ・サービス・デイは、年内に、実施地域を拡大しての開催を目指す。その際、地方自治体の協力は不可欠であり、できる限り多くの地域住民がワンストップ・サービスに参加できるように、時期・方法についてできる限り地方自治体の要望を尊重する。

○自治体への意向調査について主査（山井厚生労働大臣政務官）・副主査（小川総務大臣政務官、長安国土交通大臣政務官）の名前で発出することを決定。

【意見・質問】

○次回は四国と沖縄の開催も必須であろう。

○定例化するにあたっては毎月1日とか決定したほうが分かりやすい。

○社協の施策や保健所とか複雑なので、一般の方が分かりやすいように制度を統合したりシンプルにする必要がある。

○生活保護が集中するということで、満遍なく開催する必要がある。また、生活保護の財源負担のあり方そのものを見直すことも長期的には必要である。

○2400人という参加者はハローワークに通常来られる方々の数をベースにするとどれくらい効き目があったのか。

→2400人という数字は、今後の課題として検証していきたい。

○広報のやり方を工夫する必要がある。新聞やテレビに出るのは30日にやりましたということだが、準備の段階でこういうことをやりますとか広報してほしい。

○労働組合や関係団体との連携作業をもっと考えたらいい。

○ワンストップ・サービスは極めて重要かつ効果的な自殺対策でもある。足立区では12月いっぱい月・木で自殺対策としてこういうワンストップ・サービスをやっていく。また、中野区では区の庁舎で総合相談事業を3月末まで実施していくことを決めた。